

麻田辨白

京都画壇

の奇才!

【写】
（部分）
当館蔵



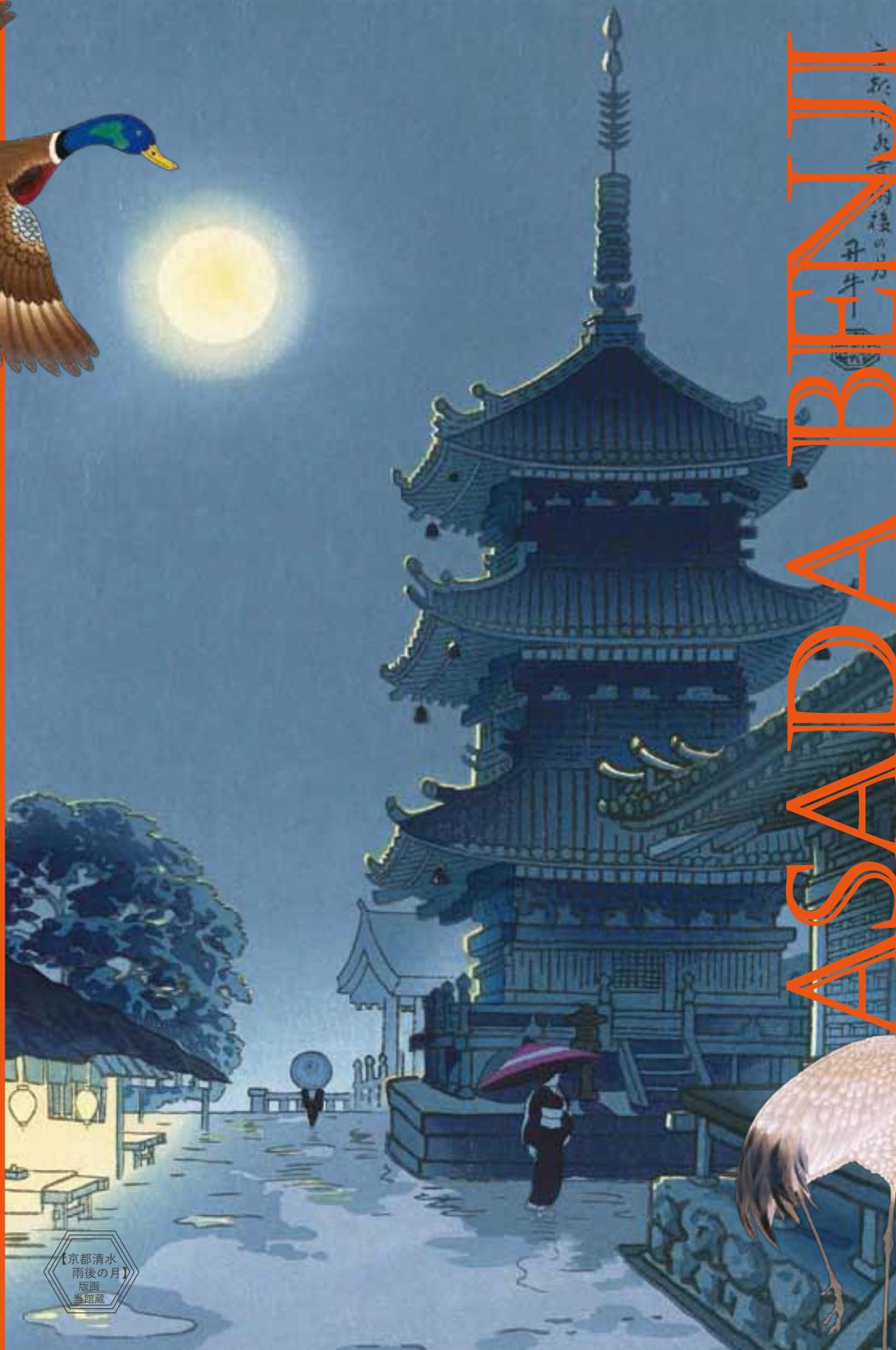
令和6年度 秋季特別展

没後40年

2024

10/26^土

— 12/8^日



【京都清水
雨後の月】
版画
当館蔵

【双鶴図】
（部分）
個人蔵

花鳥の華やかさと

風景の静けさ

□開館時間=9:00~17:00(入館は16:30まで)

□休館日=毎週月曜日(11月4日は開館)、11月5日

□入館料=大人310円(250円)/学生200円(160円)/小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金、南丹市在住または在校の小・中学生は入館無料

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は別途割引料金となります(手帳をご提示ください)

ギャラリートーク

11/3(日)

※詳しくは裏面を
ご覧下さい

南丹市立文化博物館



Nantan City Museum of Culture



没後40年

麻田辨白

ASADA
BENJI



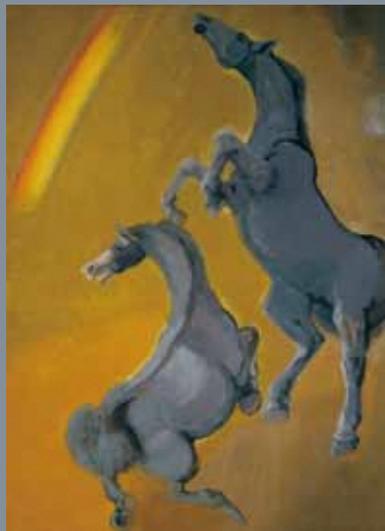
エッフェル塔 (個人蔵)



杉本君代 [版画] (当館蔵)



湖騒 (日本芸術院蔵)



虹立つ (東京都現代美術館蔵)



たにま (当館蔵)



木瓜 (個人蔵)



松に鷹図 (個人蔵)



水仙花 [版画] (個人蔵)

裏面掲載図版

- ①「日本の花」より菊 [版画] ②犬ころ
- ③朝顔図 (全て部分・全て当館蔵)

麻田辨白(一八九九・一九八四)は、南丹市八木町出身の日本画家です。妻は上村松園の弟子直園、日本画家麻田鷹司、洋画家麻田浩はその息子です。辨白は、大正三年(一九一四)、富本尋常小学校を卒業後、京都市立美術工芸学校、同絵画専門学校、同研究科に進みました。昭和四年(一九二九)から西村五雲に師事し、五雲の死去後、山口華陽らとともに晨鳥社を創設しました。

在学中の大正十年、第三回帝展に出品した《洋犬哺乳》が初入選し、その後、帝展・新文展・日展などに出品を続けました。昭和二五年(一九五〇)、第六回日展で《樹蔭》が特選、同二七年、第八回日展では《樹間》が特選・白寿賞を受賞しました。更に、同三四年(一九五九)第二回新日展出品作《風霜》で文部大臣賞を受賞。同三九年第七回日展出品作《潮騒》が日本芸術院賞受賞。同四九年京都市文化功労者、翌年京都府美術功労者となりました。

また、早くから創作版画も制作し、昭和四年、浅野竹二、徳力富吉郎らと京都創作版画協会を結成しました。辨白は、花鳥画で名を馳せた日本画家として王道を歩みながらも、版画や陶芸など分野を超えた取り組みを展開し、京都画壇において異色の存在でもありました。

本展は、麻田辨白没後四〇年という節目に開催します。主な出展先となった日展などの出品作品に加えて、初期から晩年までの創作活動を一堂に集め、辨白の全容を紹介します。

「ギャラリートーク」

担当学芸員による展示説明会

【日時】11月3日(日) 13:30~14:30

【会場】南丹市立文化博物館

【参加費】無料(要入館料)

「アクセス」

- ◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」「八木西IC」より約5分。園部公園駐車場をご利用ください。
- ◆公共交通…JR園部駅下車、駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園篠線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または市営ぐるりんバスで「図書館前」下車すぐ。



〒622-0004 京都府南丹市園部町小椋町63番地
TEL:0771(68)0081 / FAX:0771(63)2983

南丹市立文化博物館
Nantan City Museum of Culture